

令和 2年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 障害者福祉推進課

担当名: 障害福祉・自立支援医療担当

内線: 3306

(単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業		
B52	聴覚障害児支援中核機能モデル事業		一般会計	民生費	社会福祉費	障害者福祉費	障害者援護対策費		
事業期間	令和 2年度～	根拠法令	障害者基本法第14条 (義務)			宣言項目			
						分野施策			
1 事業概要			5 事業説明						
<p>聴覚障害児の支援は早期発見・早期支援が重要であることから、聴覚障害児支援の中核機能の整備に向けた検討を行うとともに、聴覚障害児とその保護者に対して適切な情報提供及び支援を行う。</p> <p>(1) 聴覚障害児支援中核機能モデル事業 △6,526千円</p> <p>国庫補助の内示額が当初見込みを下回ったことによる減</p>			<p>聴覚障害児の支援の充実を図るため、以下のようなモデル事業を実施する。</p> <p>(1) 事業内容</p> <p>ア 保健・医療・福祉・教育の関係者等による協議会を設置し、地域の実情に応じた聴覚障害児の支援体制の整備及び連携のあり方について検討をする。 また、関係機関による連携会議を設け、実務者レベルのネットワークを構築する。</p> <p>イ 聴覚障害児とその保護者に対する支援の充実を図るため、保護者等を対象とした相談窓口を設けるとともに、小学校等において聴覚障害児への支援が適切に行われるよう、職員等を対象に助言・指導を行う。</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 聴覚障害児に対応する協議会の設置・検討 年2回</p> <p>イ 聴覚障害児支援の関係機関との連携 年4回</p> <p>ウ 聴覚障害児を持つ保護者等を対象とした相談窓口の設置</p> <p>エ 小学校等を対象とした巡回支援の実施</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>聴覚障害児支援の課題検討や関係機関の連携を通じて、切れ目のない支援の実現が図られる。</p> <p>(4) 補正予算の概要</p> <p>国庫補助内示額と当初予算額の差額を補正</p>						
2 事業主体及び負担区分 (国10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.2人=1,900千円									
予算額		財 源 内 訳					一般財源	補正後の 予算額	
決定額	△6,526	国庫支出金	△6,526				0	7,874	
現計額	14,400		14,400				0		